

## 会 告

## 第 98 回 (秋季) 講演大会見学会・懇親会開催のお知らせ

本会は第 98 回秋季講演大会を昭和 54 年 10 月 16 日(火)、17日(水)、18日(木)の 3 日間名古屋大学工学部で開催いたしますが、これを機会に 10 月 16 日懇親会、17日婦人見学会、19日(金)見学会を下記により開催いたしますので、奮ってご参加下さいますようご案内いたします。なお、講演大会の詳細ならびにジュニアパーティについては追ってお知らせいたします。 名古屋大学工学部：名古屋市中種区不老町。Tel. 052-781-5111

## 記

## 1. 見学会の申込について

期 日 昭和 54 年 10 月 19 日 (金) 3 班

参加費 1 班 2500 円(含昼食費)、2 班 3000 円(含昼食費)、3 班 3000 円(含昼食費)

申込締切 昭和 54 年 9 月 17 日 (月)

## 見学会参加申し込み上の注意

1. 別紙申込書 (N 173 ページ掲載) により 9 月 17 日までに必着するようお申込み下さい。定員は各班とも 50 名といたしますが申込みが多数の場合は抽選により決定いたしますので、申込書には第 2 希望までご記入下さい。
2. 申込みと同時に参加費 (第 1 希望班の該当参加費) をお払込み下さい。参加費の払込みのない申込みは受理いたしません。なお、会費にはバス代、昼食代を含みます。
3. 見学希望者が少ない場合、または見学先の都合により見学を中止する場合があります。
4. 見学申込みの取消しは 9 月 20 日までは返金いたしますが、それ以後の取消しは返金いたしかねます。
5. 見学班の決定通知は本会より 10 月 5 日ごろお知らせいたします。
6. 同業者の見学をお断りする場合がありますことを予めご承知おき下さい。
7. 定員は鉄鋼協会、金属学会両会の合計です。

◆婦人コース以外は工場内での写真撮影を禁止いたします。

## 2. 懇親会の申し込みについて

講演大会に際し全国各地からお集りになる会員各位の親睦の場として、下記のごとく懇親会を開催いたします。会費などについてもより多くの方々にお気軽にご参加いただけるようにいたしました。

また、この機会に会員各位ご夫人同伴でご参加いただき、より明るい雰囲気の催しとしたいと思いますので、多数ご参加下さるようご案内申し上げます

期 日 昭和 54 年 10 月 16 日 (火) 18:00

会 場 愛知会館 (名古屋市中区東区赤荻町 2 の 52)

会 費 5,000 円 (同伴のご夫人はご招待いたします)

申込締切 昭和 54 年 9 月 29 日 (土)

参加券 領収証とともに申込締切後お送りいたします。

## 3. 婦人見学会について

期 日 昭和 54 年 10 月 17 日 (水)

コ ー ス 日本陶器、七宝焼組合

会 費 5,000 円 (昼食代含む)

申込締切 昭和 54 年 9 月 29 日 (土)

参加券 領収証とともに申込締切後お送りいたします。

## 4. 申込方法

上記「申込み上の注意」をご覧のうえ、別添申込用紙に必要事項を記入し、参加費 (現金書留) を添えお申し込み下さい。会費の添付されないお申し込み、銀行振込みならびに郵便振替による申し込みは受付いたしません。

5. 申 込 先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館  
(社) 日本鉄鋼協会 講演大会係 TEL (03) 279-6021

注) 見学会、懇親会申込書は本誌会告 N 173 に掲載いたしております。

秋 季 大 会 見 学 会

申込締切 9月17日 (月)

工場見学会 : 10月19日 (金)

班 別 (定員)	見 学 場 所	所 在 地	見 学 内 容	見 学 時 間	集 合 時 刻・場 所 解 散 時 刻・場 所	備 考
1 (50名)	ブラザー工業(株)本社工場 新日本製鉄(株)名古屋製鉄所 大同特殊鋼(株)知多工場	名古屋市瑞穂区堀田通 9-38 東海市東海町 5-3 東海市元浜町 39	ミシン, タイプライター組立製造 製鉄, 製鋼, 圧延 製鋼, 圧延, 特殊鋼鋼材	9:40~11:10 (昼食) 13:00~14:30 14:45~16:15	集合(8:45) テレビ塔北側 解散(17:00) テレビ塔北側	① 参加費 2,500 円 (昼食代を含む) ② 貸切バス利用 (東急観光バス) ③ 昼食は新日鉄
2 (50名)	トヨタ自動車工業(株)本社工場 日本車輛製造(株)豊川廠製作所	豊田市トヨタ町 1 豊川市穂ノ原 2-20	自動車製造 車輛製造	10:00~12:00 (昼食) 14:00~15:30	集合(8:45) テレビ塔北側 解散(17:00) テレビ塔北側	① 参加費 3,000 円 (昼食代を含む) ② 貸切バス利用 (東急観光バス) ③ 昼食はトヨタ自工
3 (50名)	NTN 東洋ベアリング製造(株)桑名工場 本田技研工業(株)鈴鹿製作所	桑名市大字東方 鈴鹿市平田町 1907	各種ベアリング製造 自動車製造	10:30~12:00 (昼食) 13:30~15:00	集合(8:45) テレビ塔北側 解散(17:00) テレビ塔北側	① 参加費 3,000 円 (昼食代を含む) ② 貸切バス利用 (東急観光バス) ③ 昼食は東京ベアリング

婦人コース : 10月17日 (水)

申込締切 9月29日 (土)

班 別 (定員)	見 学 場 所	所 在 地	見 学 内 容	見 学 時 間	集 合 時 刻・場 所 解 散 時 刻・場 所	備 考
婦 人 コ ー ス (35名)	日本陶器(株)モジュールプラント 七宝焼組合	名古屋市西区則武新町1-1 愛知県海部郡七宝町	陶磁器, 洋食器 七宝焼(現地で即売あり)	9:30~11:30 (昼食) 13:30~15:00	集合(8:45) テレビ塔北側 解散(17:00) テレビ塔北側	① 参加費 5,000 円 (ホテルでの昼食代を含む) ② 貸切バス利用 (東急観光バス)

- (注) 1. 婦人コース以外は工場内での写真撮影をお断りいたします。  
 2. 各班の参加費には昼食代が含まれております。  
 3. 婦人コースの参加費には、バス代、昼食代等が含まれております。  
 4. 各班の定員は両学会合計 50 名とします。参加者が少ない場合、または都合により見学を中止することがあります。  
 5. 同業者の見学をお断りする場合がありますことを予めご承知おき下さい。

## 第 61・62 回西山記念技術講座開催のお知らせ

### —— 鉄鋼分析における最近の進歩 ——

主催 日本鉄鋼協会

第 61・62 回西山記念技術講座を下記のとおり開催いたしますので多数ご来聴下さいませようご案内いたします。

**I 期 日** 第 61 回 昭和 54 年 9 月 3 日(月), 4 日(火)

東京 農協ホール (千代田区大手町 1-8-3 農協ビル 9 階 TEL 03-279-0311)

第 62 回 昭和 54 年 9 月 18 日(火), 19 日(水)

大阪 大阪科学技術センター大ホール (大阪市西区靱本町 1-8-4 TEL 06-443-5321)

### II 演題ならびに講師

第 1 日	9:30~10:30	鉄鋼分析における最近の進歩	鉄鋼分析部会長・新日本製鉄(株)	池野 輝夫
	10:40~12:10	標準分析法としての化学分析法	川崎製鉄(株)技術研究所	岸高 壽
	13:00~14:30	けい光X線分析法	新日本製鉄(株)製品技術研究所	渡辺 俊雄
	14:40~16:10	発光分光分析法	日本鋼管(株)技術研究所	井樋田 陸
第 2 日	9:30~11:00	質量分析法	金属材料技術研究所	須藤恵美子
	11:10~12:40	鋼中介在物の分析法	新日本製鉄(株)基礎研究所	田口 勇
	13:30~15:00	原子吸光分析	千葉大学理学部	大八木義彦
	15:10~16:40	製鉄所の分析システム	日本鋼管(株)技術研究所	岩田 英夫

### III 講演内容

#### 1. 鉄鋼分析における最近の進歩 池野 輝夫

鉄鋼技術の進歩に伴って、鉄鋼分析の分野でも大幅な技術の開発、改善が促され、高能率、高品質な鉄鋼生産体制を支えて来た。今日工程管理の主要な機能として分析システムが確立されており、研究面でも高品質な製品の開発が可能とした多くの新分析技術が見られる。これら新分析技術開発の推移を述べ、また鉄鋼協会共同研究会分析部会の共同実験を通じての協力体制についても触れた。

#### 2. 標準分析法としての化学分析法 岸高 壽

近年、その重要性を増しつつある、鉄鋼の標準分析法について、それをいわゆる標準試料を用いることなしに、化学量論的に試料中の成分含有率を決定しうる、化学的処理をともなう分析法としてとらえ、その特質について述べる。又、標準分析法の信頼性の向上に関して、それを支配する誤差の要因について考察し、さらに鉄鋼分析法の今後の方向について述べる。

#### 3. けい光X線分析法 渡辺 俊雄

急速な鉄鋼業の発展を支えたのは分析作業の機器化であり、高速化高精度化による工程管理への貢献は大きい。その一翼を担うものがけい光X線分析法である。現在鉄鋼の分析を始め、スラグ類、鉄鉱石、鉄合金等の分析に活用され、又めつき鋼板のめつき厚みの測定さらにはその工程管理にも用いられている。このように利用されるまでには装置の改良、分析方法の改善が試みられた。本題では以上の経緯及び本分析法の限界について詳述する。

#### 4. 発光分光分析法 井樋田 陸

直読式発光分光分析装置は鉄鋼業の工程管理、検定分析の主力機器として定着し、高速発光法や電算機の活用によって、迅速化の点では一応目的は達成された。しかし精度、正確度の点では組織、共存元素、存在形態の影響を受け、未解決の問題も多い。ここでは鉄共研分析部会発光分光分析分科会の最近の成果、既析出限界、鋼中硫黄分析、共存元素の影響等について述べ、さらに最近発光源や形態別分析法について新しい試みが開発されつつあるのでその動向についても言及する。

#### 5. 質量分析法 須藤恵美子

スパークイオン源質量分析法は固体試料中に含まれる全元素を、少量の試料の消費量で同時に高感度で検出または定量できるので超微量成分分析の有効な手段として注目されている。金属中の微量元素の定量、高純度鉄その他高純度金属中の極く微量不純物の検出と定量、さらに大気浮遊粉じんの分析、排水中の微量成分などにも利用されている。分析にあつての試料の取扱い、検出および定量方法ならびに定量における注意点、問題点などを紹介する。

#### 6. 鋼中介在物の分析法 田口 勇

鋼のキャラクタリゼーションの有効な方法の一つとして、鋼中介在物の分析法の重要性は日々高まっております、またその技術も最近、長足に進歩した。鋼中の介在物、析出物、金属間化合物などの量と分布の測定を主対象とし、化学分析法、粒度別分離分析法、選択エッチング観察法、アルファ線トラック法、オートラジオグラフ法、質量分析法、赤外吸収分析法、熱分析法などについての最近の進歩と適用を述べ、さらに今後を展望する。

#### 7. 原子吸光分析 大八木義彦

原子吸光分析は試料を溶液にして行う方法なので、鉄鋼関係の分析には不向きであるといわれることがある。ことに特定成分の偏析の状態を知るには困難がある。しかし一方では、試料の平均的な組成を知るには最も適しており、そのさいに原子吸光分析の大きな特長である、高い再現性が価値を発揮する。近年広く用いられるようになった炭素炉加熱法により、鉄鋼関係試料についても新生面が開かれることが期待されている。

5. 講演前刷 昭和 54 年 11 月 5 日 (月)  
原稿締切日 討論講演として採用された方は、本会所定のオフセット原稿用紙 4 枚以内 (表, 図, 写真を含め 1 頁 6,700 字) に黒インクまたは墨をもちいて楷書で明りようにお書きのうえ, ご提出下さい。
6. 講演テーマ・「鉄と鋼」第 66 年第 1 号 (昭和 55 年 1 月号) にて発表いたします。  
講演者の発表
7. 講演内容の発表 「鉄と鋼」第 66 年第 2 号 (2 月号) に講演内容を掲載いたします。
8. 討論質問の 昭和 55 年 2 月末日  
公募締切日 前記 2 号掲載の講演内容をご覧のうえ, 質問対象講演を明記のうえ, 本会編集課宛ご送付下さるようお願いいたします。  
申込先: 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階  
日本鉄鋼協会編集課 TEL 03-279-6021 (代)

## 「鉄と鋼」特集号原稿募集案内

テーマ: 鋼材の表面処理

原稿締切日: 昭和 54 年 10 月 19 日 (金)

近年, 鋼材の表面処理技術の発展にはめざましいものがあり, それらの品質, 経済性に対する要求の高まりに対応して, 新製品の開発や学術的掘り下げが活発に行われております。そこで, これまでの進歩のあとを確かめるとともに将来の鉄鋼技術の発展に資するために, 今回は標記テーマによる特集号を企画いたしました。

内容は, 鋼板および鋼管の表面処理技術ならびに製品に関するもので, めつき, 化成処理, 有機被覆, 潤滑被覆や酸洗, クリーニングなどの前処理技術など, 防食のみならず加工に際しての潤滑性向上やそれらの利用技術など鉄鋼材料の付加価値を高める技術を広角の視野でとらえようとするものであります。

つきましては, これらの内容に関する論文あるいは技術報告を多数ご投稿下さいますようお願い申し上げます。

記

1. テーマ 鋼材の表面処理
  2. 原稿締切日 昭和 54 年 10 月 19 日 (金)
  3. 発行 鉄と鋼 第 66 年 7 号 (昭和 55 年 6 月号)
  4. 原稿枚数 表, 図, 写真を含めて所定の原稿用紙
    - 1) 論文 50 枚以内 (刷上り 10 ページ以内)
    - 2) 技術報告 35 枚以内 (刷上り 7 ページ以内)
    - 3) 原稿は本会投稿規定に基づいて執筆下さい。
    - 4) 投稿された論文は編集委員会において審査されます。
  5. 問合せ送付先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 F  
(社) 日本鉄鋼協会編集課特集号係 電話 03-279-6021
- (注) 投稿時原稿表紙に「鋼材の表面処理特集号」と朱書して下さい。

## お 知 せ

本誌掲載記事に関し, 執筆者より次の様に申し出がありましたのでお知らせいたします。

「本誌第 65 年第 3 号解説「海洋鋼構造物防食技術の現状と最近の動向」(筧 建彦) 中表-6 (137 頁) 及び表-7 (138 頁) の引用文献が記載されていなかったため, つぎのとおり追記いたします。関係の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。」 筧 建彦

表-6} 海洋構造物防食施工指針  
表-7}

(社) 鋼材倶楽部 (昭和 51 年 1 月)

#### 第4回生産技術に関する国際会議の講演募集

共催 精機学会, 日本塑性加工学会  
協賛 日本鉄鋼協会, ほか

標記国際会議が開催されることになり, 講演論文の募集が行われておりますのでお知らせいたします。なお詳細は精機学会宛お問合せ下さい。

1. 開催期日 昭和55年8月18日(月)~22日(金)
2. 開催場所 機械振興会館  
東京都港区芝公園 3-5-8
3. プログラム
  - 1) セッション講演(8月18日~20日)
    - (1) Design
    - (2) Manufacturing system
    - (3) Cutting
    - (4) Grinding
    - (5) Non-conventional processing
    - (6) Metrology
    - (7) Assembly engineering
    - (8) Machine tools
    - (9) Forming
    - (10) Surface integrity
  - 2) シンポジウム(8月18日~20日)
    - (1) Intergrated Manufacturing System
    - (2) Fundamentals of Forming : Numerical analysis and tribology in forming Processes
    - (3) Technical Cooperation between Developing Countries and Developed Countries and Developed Countries
  - 3) 特別講演, Keynote 講演(8月18日~20日)
  - 4) Technical tours(8月21日~22日)
4. 会議用語 英語
5. 講演論文申込締切日 昭和54年8月31日(金)  
講演発表を申込まれる方は, はがきにて「第4回生産技術に関する国際会議」資料を請求して下さい。
6. 申込ならびに問合せ先  
精機学会(電話 03-362-4030)  
160 東京都新宿区百人町 2-22-17  
セラミックビル内

#### 第2回フラクトグラフィシンポジウム

- 主催: 日本材料学会, 協賛: 日本鉄鋼協会, ほか
- 期 日 昭和54年10月11日(木), 12日(金)  
9:20~17:00
- 会 場 大阪府立工業技術研究所  
大阪市西区江之子島2丁目1-53(地下鉄中央線阿波座下車, 西北へ徒歩約5分)
- 参加料 会員 6,000円, 非会員 9,000円  
学生 4,000円, 学生非会員 6,000円  
ただし前刷集(オフセット印刷約160頁, 破面写真多数掲載)を含む, 前刷集のみの価格  
会員 4,000円, 非会員 6,000円

申込方法 参加御希望の方は, 氏名, 所属, 連絡先を明記し, 参加料を添えて, 来る9月末日までに〒606 京都市左京区吉田泉殿町1の101 日本材料学会シンポジウム係へお申込下さい。

#### プログラム

- 10月11日
- 開会のあいさつ(9:25~11:20)  
フラクトグラフィ部門委員会委員長 小寺沢良一
- 疲労初期破面(9:25~11:20)
1. 低炭素鋼の疲労初期き裂に関する一検討  
武蔵工大 浅見 克敏, ほか
  2. 鋼の疲労初期破面の観察  
東芝重電技研 石松 正規, ほか
  3. 軟鋼における疲労き裂のせん断型進展破面に関するエッチピットによる検討  
名大工 森 要, ほか
  4. 疲労破面形態と内部組織  
阪大産研 片桐 一宗, ほか
  5. 異方性をもつ圧延鋼材の疲労破面(表面の連続観察と破面の対応)  
九大工 鹿毛 正治, ほか
- 変動荷重下の疲労(11:20~12:30)
6. 低K領域における変動荷重下の疲労き裂進展挙動と破面 阪大工 近藤 良之, ほか
  7. 過大過小応力下における高強度鋼の疲労き裂伝ば 阪大基工 小寺沢良一, ほか
  8.  $\Delta K$  増加試験と  $\Delta K$  減少試験における破面観察 神鋼構造研 ○八木和茂, ほか
- 組織と破壊(13:20~14:55)
9. 高強度鋼の疲労き裂伝ば機構に及ぼす微視的組織の影響 産業安全研 橋内 良雄
  10. 高強度鋼 SNCM8 の破壊機構と疲労き裂進展抵抗 東工大 小林 英男, ほか
  11. 低温における衝撃疲労き裂進展挙動(旧オーステナイト粒径を変えた SCM3 焼入焼もどし材の場合) 徳島大工 竹ノ内省一, ほか
  12. 実体歯車切出し材での疲労破面の観察  
川重技研 苧野 兵衛, ほか
- 高温破壊(15:00~16:55)
13. Ni 基鍛造合金の高温低サイクル疲労き裂伝ば速度に及ぼす温度と保持時間の影響  
川重技研 藤岡順三, ほか
  14. 疲労とクリープの重畳効果と破壊形態  
住金中研 時政 勝行, ほか
  15. 疲労クリープ条件下のき裂伝ばとフラクトグラフィ 阪大基工 森 時彦, ほか
  16. 熱間鍛造用型鋼のフラクトグラフィ  
三菱重広島研 江原隆一郎, ほか
  17. エルボ管の高温低サイクル疲労破面観察  
日立造船技研 福島 正治, ほか
- 10月12日
- 一般 I (9:30~11:05)
18. 高炭素鋼の引張強さ  
姫路工大 砂田 久吉
  19. 高強度材料の延性破壊における微小ボイドの

- 観察とその発生条件 阪大工 大路 清嗣, ほか
20. 高張力鋼多層盛溶接金属の切欠き靱性と破面形態 阪大工 米田 理史, ほか
21. 硬質塩化ビニル板のシャルピー衝撃値に及ぼす試験片切欠き切削条件の影響 大工試 林 英雄, ほか
- 一般Ⅱ (11:05~12:15)
22. ステレオマッチングによるストレッチゾーンの解明 産業安全研 橋内 良雄
23. 高張力鋼, アルミ合金およびチタン合金の J<sub>1c</sub> 破壊靱性評価とフラクトグラフィ 阪大工 小倉 敬二, ほか
24. き裂先端塑性鈍化のフラクトグラフィによる定量的評価 東工大 中村 春夫, ほか
- 環境破壊Ⅰ (13:05~14:40)
25. SUS 301 鋼の MgCl<sub>2</sub> 溶液中における応力腐食割れの発生と伝ばに及ぼす環境因子の影響 姫路工大 内田 仁, ほか
26. SUS 304 鋼の塩化物応力腐食割れ破面形態に及ぼす冷間加工の影響 阪大工 村田 雅人, ほか
27. SUS 304 鋼の塩化マグネシウム水溶液中における低サイクル疲労 阪大基工 志茂大治郎, ほか
28. 高力アルミニウム合金とその溶接部の応力腐食割れ 阪大溶接研 黒田 敏雄, ほか
- 環境破壊Ⅱ (14:45~16:20)
29. フェライト系ステンレス鋼の水素脆性とへき開破壊 住金中研 寺崎富久長, ほか
30. 高強度鋼の SNCM8 遅れ破壊の下限界応力拡大係数に及ぼす試験片厚さの影響 埼玉大工 土田栄一郎, ほか
31. 疲労き裂進展速度に及ぼす水素雰囲気の影響 三菱電中研 出水通之輔, ほか
32. 環境破壊の事故破面解析例 三井造船玉野研 長尾 幸男, ほか
- 総合討論 (16:20~16:55)
- 閉会のあいさつ (16:55~17:00)
- フラクトグラフィ部門委員会幹事 寺崎富久長

.....切.....取.....り.....

昭和 54 年度秋季講演大会参加申込書

見	希望順位	班 別	送 金 額
学 会		第1班：ブラザー工業，新日本製鉄名古屋製鉄所，大同特殊鋼知多工場	2,500 円
		第2班：トヨタ自動車工業，日本車輛豊川蔵製作所	3,000 円
		第3班：NTN東洋ベアリング製造桑名工場 本田技研工業鈴鹿製作所	3,000 円
		婦人見学会 (出席者氏名)	5,000 円
懇親会	出 欠	ご夫人の出欠(招待) 出 欠 ご夫人名	5,000 円
会員資格	員	送金額合計	円
通 信 先 (〒 )			
氏 名			
勤務先，職名			
領収書送付先 (通信先と異なる場合)			

**プラントにおける流体機械の故障診断と  
予知技術 (講習会)**

主催 日本機械学会  
協賛 日本鉄鋼協会, ほか  
日時 昭和54年8月23日(木), 24日(金)  
会場 ダイヤモンドホール (ダイヤモンド社ビル  
10階) 東京都千代田区霞ヶ関 1-4-2  
電話 (03) 504-6779

題目・講師

8月23日  
9:20 プラントにおける流体機械の故障診断と  
予知技術 航空宇宙研 松木 正勝  
10:20 異常検出技術と故障診断システム  
東大工 山崎 弘郎  
12:40 振動測定による故障診断(I)  
東大生産技研 尾上 守夫  
14:10 振動測定による故障診断(II)  
三菱重工高砂研 白木 万博  
15:40 腐食の診断と予防保全  
荏原製作所中研 北嶋 宣光  
8月24日  
9:00 送風機・圧縮機の故障診断と予知技術  
日立製作所機械研 菊地 勝昭  
10:00 ポンプの故障診断と予知技術  
電業社エンジニアリング 堀内 英三  
11:00 油圧機器・装置の故障診断と予知技術  
不二越 野村 泰雄  
12:50 ジェット・エンジンの故障の診断と予知技術  
日本航空 松尾 芳郎  
13:50 火力発電所における流体機械の予防保全  
東京電力 早田 直  
14:60 化学プラントにおける流体機械の予防保全  
三井石油化学 佐々木鎮夫  
15:50 製鉄所における流体機械の予防保全  
新日鉄大分 境 卓也

定員 100名, 申込先着順により満員になりしだい締  
切ります。

聴講料 会員 12000円(学生員 3000円), 会員外 25000  
円(いずれも教材1冊分代を含む)。

教材 教材のみご希望の方, または聴講者で教材を余  
分にご希望の方は, 1冊につき会員 2000円,  
会員外 3000円にて頒布いたしますので, 8月  
13日(月)までに予約ご送金ください。講習会  
終了後発送いたします。

申込方法 B6判用紙(会誌半裁)に「第〇〇回講習会  
申込みと題記し, ①住所, ②勤務先の名称・  
所属部課(科)名・所在地, ③通信先, ④氏名  
(ふりがな), 会員資格・会員番号を記入, 聴  
講料を添えてなるべく現金書留でご送付くだ  
さい。

申込先 〒151 東京都渋谷区代々木 2-4-9  
(三信北星ビル6階)日本機械学会

ご注意 ① 聴講決定者には後日聴講券をお送りいた  
しますのご来聴の際はご持参ください。  
② 聴講決定後は取消しのお申し出がありま

しても聴講料は返金いたしません。

③ 会社, 工場などを通信先にご指定の場合  
は部課名まで詳細にご記入ください。

**第68回塑性加工シンポジウム**

主催: 日本塑性加工学会 協賛: 日本鉄鋼協会, ほか  
主題: 省エネルギー時代における圧延技術の課題  
開催日: 昭和54年9月18日(火) 1000~17:00  
場所: 東京大学工学部講堂(文京区本郷 7-3-1)  
10:00 圧延における省エネルギーの意義 鈴木 弘  
10:30 材料の変形と圧延エネルギーおよび  
金属特性への影響 東京大学 木原 諄二  
11:15 非鉄の圧延における省エネルギー対策と  
問題点 住友軽金属工業 永田 修身  
13:00 熟間薄板の直送圧延・温片装入に課せ  
られた問題および対策 新日鉄堺 坦田 修  
13:45 低温加熱圧延に課せられた問題および  
対策 鋼管福山 藪内 捷文  
14:40 形材圧延に課せられた問題および対策  
川鉄水島 志賀 勝利  
15:25 棒・線材圧延に課せられた問題および  
対策 神鋼神戸 三之宮章博  
総合討論 司会 阪大 加藤 健三

シンポジウムテキストについて

代金 会員(共催・協賛の学協会員を含む)  
3,000円  
非会員 5,000円

申込締切 昭和54年9月3日(月)

申込方法 ハガキ大の用紙に, 氏名・通信先・出欠の有  
無, テキスト冊数・所属学協会名を明記し,  
代金を添えなるべく現金書留でお申し込み下  
さい。

問合せ先

〒106 東京都港区六本木 5-2-5 トリカツビル  
社団法人 日本塑性加工学会

**第2回材料講習会**

金属材料の効果的な使い方(基礎と実務技術の  
平明な解説)

主催(問い合わせ先)

日本材料学会(〒606 京都市左京区吉田泉殿町  
1-101 電(075) 761-5321)

協賛 日本鉄鋼協会, ほか

期日 昭和54年11月15日(木), 16日(金)9:20~17:00

会場 大阪科学技術センター 404号室  
大阪市西うつぼ本町 1-8

11月15日

9:20 基礎知識(拡散, 状態図, 変態, 析出, T-T-T  
など) 京大工 村上陽太郎

13:30 鉄系金属材料の熱処理の実際 住 金 大谷 泰夫

15:10 非鉄系金属材料の熱処理の実際 定員 80名  
 住軽金 馬場 義夫 参加料  
 16:40 質疑応答 会員(協賛団体会員) 20,000円, 非会員 30,000円  
 11月16日 学校・官公庁会員 12,000円, 同非会員 18,000円  
 9:20 基礎知識(金属結晶; 欠陥, 転位, 機械的 学生会員 6,000円, 同非会員 9,000円  
 性質-回復再結晶を含む) 京大工 三浦 精 申込方法  
 13:30 金属の強化機構と強化法(鉄, 非鉄) 参加ご希望の方は, 氏名, 勤務先, 連絡先, 所属学協  
 京大工 田村 今男 会名を記入し, 参加料を添えて, 〒606 京都市左京区  
 15:40 新しい表面処理技術とその応用 吉田泉殿町1の101 日本材料学会講習会係へお申込み  
 豊田中研 新井 透 下さい。Tel. (075) 761-5321 振替口座 京都26625  
 16:40 質疑応答 番  
 参加申込締切 11月10日(土)

昭和54年鉄鋼協会行事案内

行 事	期 日	場 所
(講演大会)		
第98回(秋季)講演大会	昭和54年10月16日(火)~18日(木)	名古屋大学工学部
第99回(春季)講演大会	(申込締切・54年7月5日) 昭和55年4月3日(木)~5日(土)	東京大学工学部
(西山記念技術講座)		
第61・62回「鉄鋼分析における最近の進歩」	昭和54年9月3日, 4日 9月18日, 19日	東京・農協ホール 大阪・科学技術センター大ホール
第63・64回「鉄鋼材料のミクロ組織と破壊力学」	昭和54年11月29日, 30日 昭和54年12月12日, 13日	北九州・北九州勤労者会館 東京・農協ホール
第65・66回「溶接技術の最近の進歩」	昭和54年2月28日, 29日 昭和54年4月	東京・農協ホール 岡山・会場未定